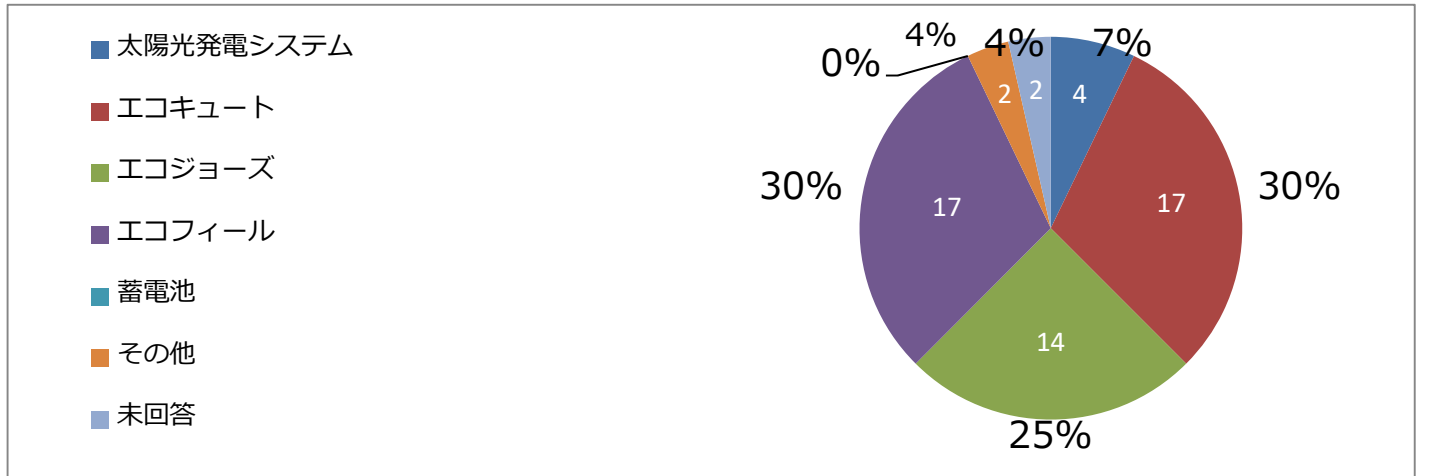


新・省エネルギーシステム導入に関するアンケート調査結果

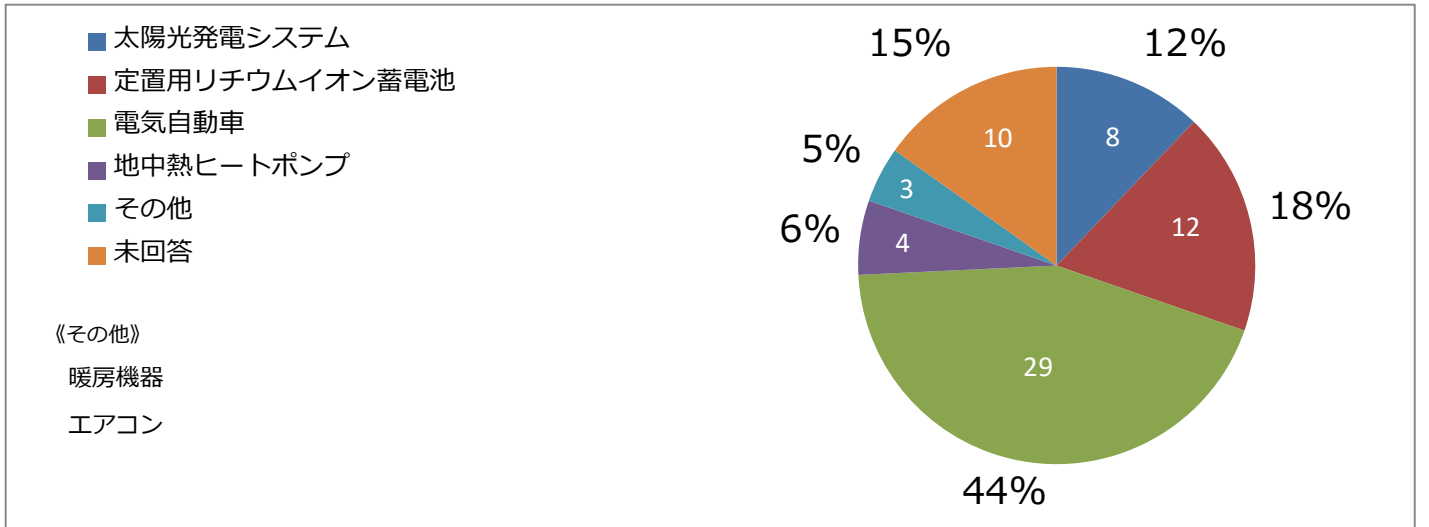
令和4年9月

(対象: 令和2年度補助事業利用者)

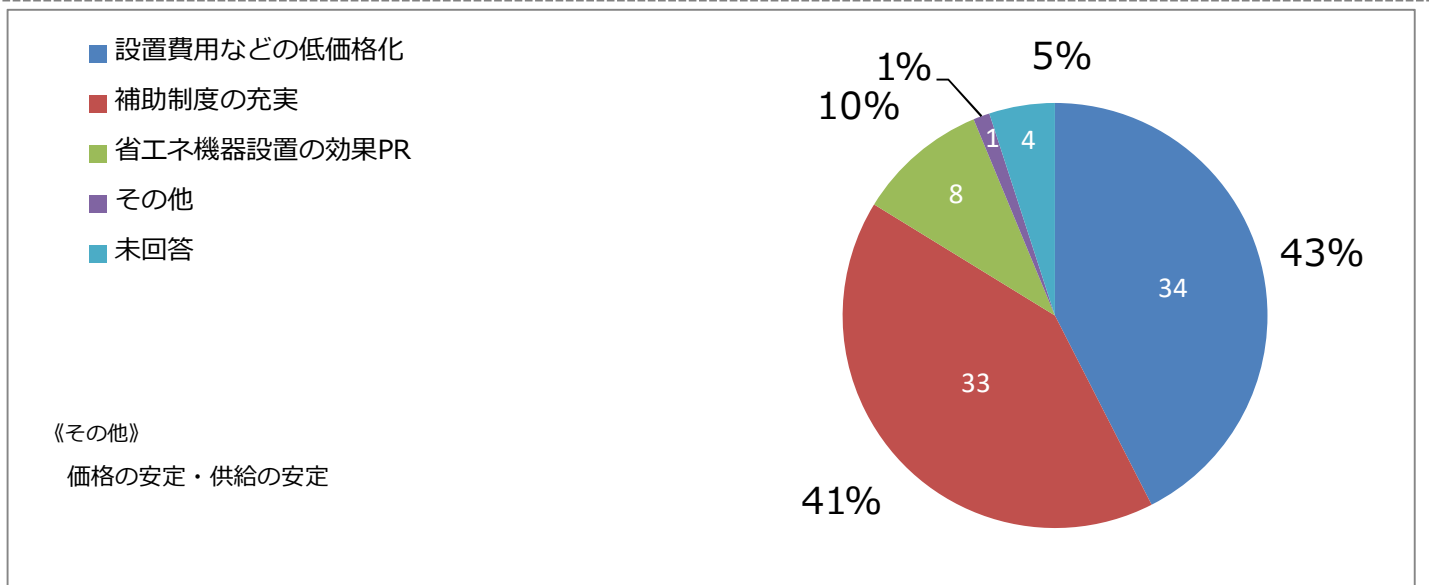
1 設置した省エネ機器について



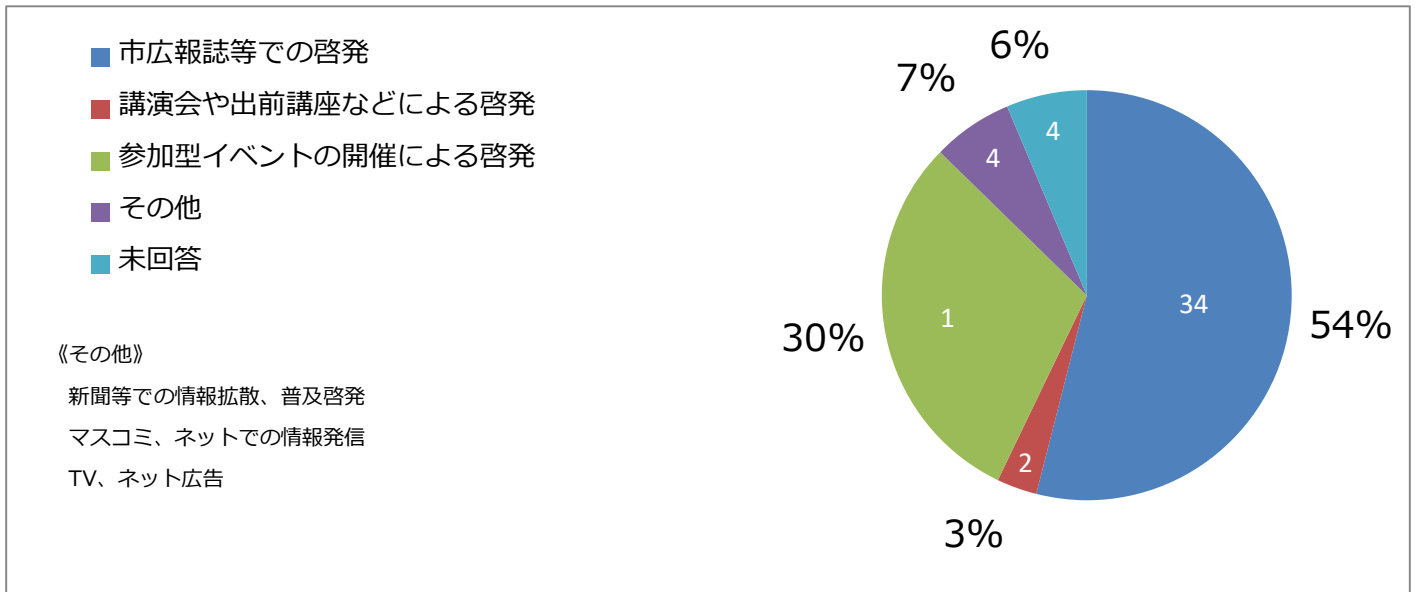
2 今後設置したいと思う省エネ機器等



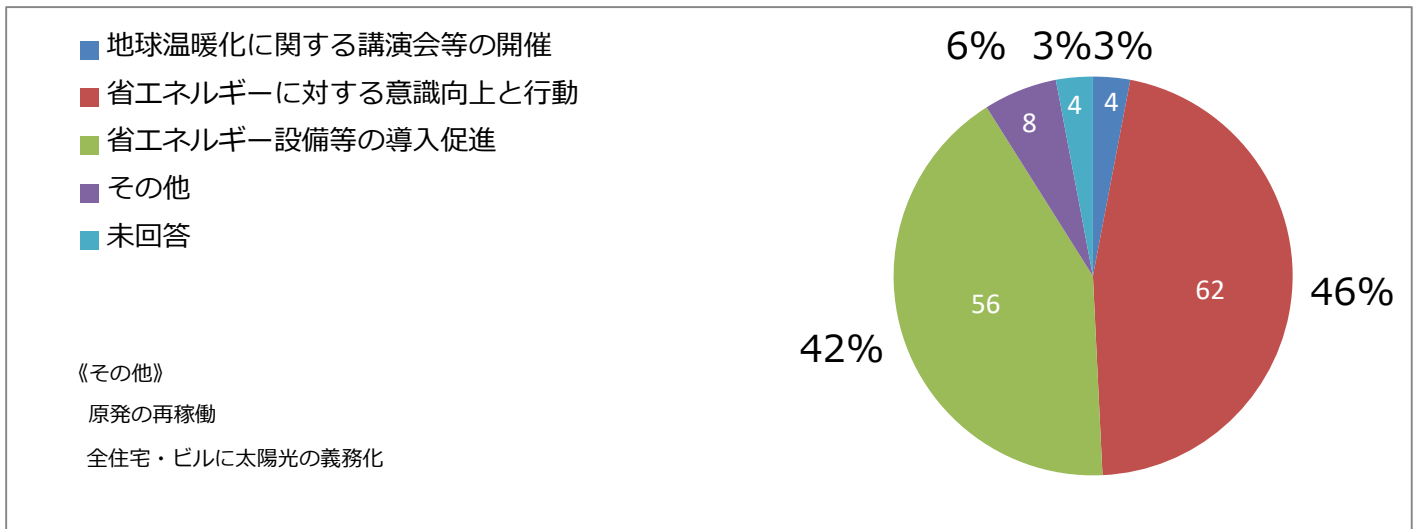
3 省エネの普及には何が必要か



4 省エネルギー行動の普及啓発に有効なもの



5 地球温暖化防止に必要なことは



6 地球温暖化防止を推進するためにどのような取組が必要か【抜粋】

- 市の広報に具体的な省エネ設備を紹介すると思う。特集を設けて家庭でできる節電なども掲載すると思う。
- 省エネ設備等の低価格化と補助の増額。
- 実生活の中でできる具体例やその効果を示し、個人レベルで行動するための指針等が必要だと思う。
- 設備を導入しすぎても、その後のゴミ問題があるので、個々の意識を高めることが大切かと思う。
- 補助をメンテナンス時期や交換時期にも支援してもらえると既存住宅でも取り入れようかなと思う。
- 公共施設は太陽光発電システムにして市民に訴えていく。
- CO₂削減のために普段の生活の中で手短にできる優しい項目を広報誌等で啓発してもらえればと思う。

7 省エネ機器の設置後効果について【抜粋】

- 電気代が安くなった。
- 太陽光発電は冬期間、パネルに雪が積もって発電しない。
- 灯油+ガスの料金よりガスのみになりトータルの出費は減少。
- エコジョーズに替えたが、使用燃料が15%程度削減できた。
- エコキュートにして深夜電力半減。
- 将来的に電気自動車を購入しようという思いに至った。